

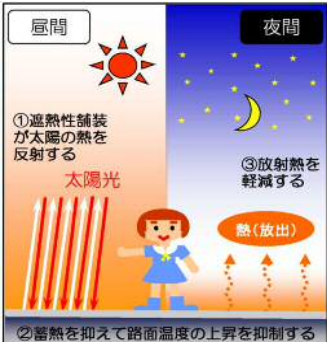
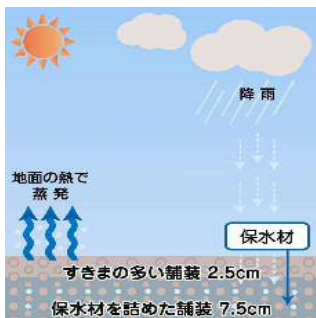
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた道路の暑さ対策について（舗装の取組み）

暑さ対策の概要

◎概要

夏の暑さ対策（ヒートアイランド対策含む）として、センター・コア・エリアを中心とした重点エリアにおいて、路面温度の上昇を抑制する遮熱性舗装などを路面補修工事に併せて実施している。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた暑さ対策の一つとして、2020年までに競技コース等を含む都道において、当舗装を累計約136km整備する。

	遮熱性舗装	保水性舗装
性能	<ul style="list-style-type: none"> 路面に塗布した遮熱材が赤外線を反射することで、舗装への蓄熱を防ぎ、路面温度の上昇を最大で8℃程度抑制。 低騒音舗装の騒音低減機能を確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 保水材にしみ込んだ雨水等が蒸発する時の気化熱によって、路面温度の上昇を最大で10℃程度抑制。 温度抑制低減効果の発揮には、降雨などによる保水が必要。 
都道での適用範囲	センター・コア・エリアを中心とした重点エリアのうち夜間環境基準超過区間に適用。 騒音対策が必要な箇所	センター・コア・エリアを中心とした重点エリアのうち夜間環境基準超過区間外の区間に適用。 騒音対策が必要ではない箇所
経過	平成19年度：都道で試験施工を実施 平成20年度：本格実施開始	平成13年度：都道で試験施工を実施 平成17年度：本格実施開始
施工実績 H30年度末	約 109 km	約 20 km

事業エリア・赤外線画像など

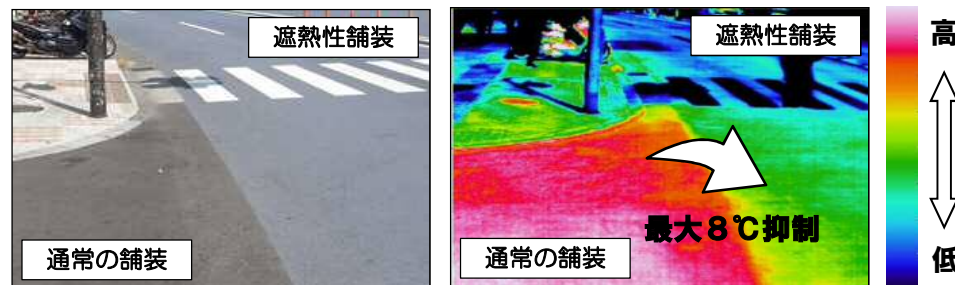
整備状況



事業エリア



赤外線熱画像



2020年に向けた実行プラン（2020大会開催までの年次計画）

項目	2018年度まで	2019年度	2020年度
スマートシティ 【快適な都市環境の創出】 暑さ対策の推進	遮熱性舗装 保水性舗装 都道で累計 129km完了	プレイベント 遮熱性舗装・ 保水性舗装の整備	2020年東京大会 都道 累計136km
		区市環境対策型舗装 整備の補助	